

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 5年 3月 10日

事業所名 こどもハウス城東区店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		様々の活動にあわせた環境設定人員配置を考慮しています。整理整頓を心がけてスペースの面では活動内容によるレイアウトの工夫ができるように今後も行っていきます。利用人数が多い時は適宜時間で換気を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	4	1		日によってバランスが合わない日も見受けられるが、プログラム内容から職員の配置も決め、十分に支援できるようその都度、声を掛け合っています。今後、余裕を持った職員配置は検討してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2		建物の構造上階段もありバリアフリーになっていませんが、職員が全て室内を見渡せるスペースで活動しています。児童が移動する際には職員と一緒に行動し、危険リスクのある場所には工夫して安全に配慮し、定期的に職員間で見直しを行うようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			感染症対策を徹底し毎日の清掃・消毒(児童が触れる物は全て)定期的な喚起を行い限られたスペースの中で行える活動を設定しています。常時空気清浄機の設置や活動に合わせて空間の使い方も工夫しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		日頃から業務改善等職員間で振り返りと今後について話し合っています。内容は申し送りノートで書き取りし、参加できなかった職員も全員で共有しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		集計後、全体振り返りを行うことで業務改善に繋がっています。評価にあるご意見やご要望などについては、今後どのように改善していくか職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		HPで公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		第三者からの評価については今後検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			新人研修や業務内容向上について社内研修を適宜行っている。事業所内では研修機会を確保し、研修動画や資料を元に職員の共通理解を図っています。外部研修に参加した際はその内容も全体研修を通して共有していきます。今後、外部講師による全体研修を定期的実施検討していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			定期的に保護者様にアセスメントシートに基づき聞き取りをさせていただき、ニーズを傾聴し把握した上で支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			保護者の方に支援の意向を確認した上で「発達支援」を主に一人ひとりのニーズに応じて具体的に支援内容を設定しています。支援計画作成時には職員間で発達課題の意見交換をし、支援目標を検討するようにしています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			支援会議を行い、スタッフ間で共有し個別支援計画に沿った支援を心掛けています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5			全職員が立案に相談・助言をし合い、役割分担したりローテーションを組んで行っています。全体で周知し児童の様子に合わせて個別に役割やサポートについては事前にミーティングを重ねています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			毎月の内容の中でプログラムを分散させ、立案時は前後日の内容も確認しながら様々な活動ができるように心掛けています。子どもの特性や課題によって、ねらいを持って同じプログラムを継続することはあるが、マンネリ化しないように内容の見直しも行っていきます。その中で気付いた点があったものは共有し、その都度課題設定を考え、必要に応じて新たな課題を取り入れるなどとしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			それぞれの子どもの発達段階に応じた支援を行いつつ、集団での関わり合いも大切にしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			ミーティングで内容の細かな留意点等の周知と確認を行い、担当毎に人員配置も合わせて役割分担しています。支援計画の開始日にも全体で支援内容や役割の周知と再確認を行っています。その他、送迎などの予定対応なども合わせて行っています。イベント等は事前に入念に打ち合わせを行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・終了後スケジュールを職員間で支援の振り返りを行い、記録に残し確認しながら話し合いをしています。 ・気付いたことや反省点を役職者に伝え記録に残し、翌日の朝のミーティングで共有するようにしています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援の内容と個々の成長過程等記録し検証・改善に繋げています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		モニタリング期間内に評価・見直しを行っています。日頃から送迎時の保護者様との会話もご意見として参考にさせていただいています。
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			主に児童発達支援管理責任者・管理者が出席し、参加した者から現場へも情報共有しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		必要に応じて関係機関からの問い合わせなど情報共有し関係機関との連携に努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		相談支援員や保護者様の要望に応じて情報共有は具体的な内容を記し文書で行っています。また可能な限り支援内容を開示し共有理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		連携がとれている事業所もありますが、今後は更に多くの事業所と連携がとれる関係性を築いていきたいと考えています。研修には積極的に参加し助言していただける機会を確保しより良い支援につなげていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		現状ありませんが、保護者様のご意向を踏まえて交流の機会が作れるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		各区の主催している連絡会に今後も積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・連絡帳や記録ノート以外に、送迎の際の保護者様と話す機会はととても大切にしています。連絡帳だけでなく相談内容により、お時間を調整して話の場を設け、保護者様との状況確認や共通理解を図るよう努めております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		全児童を対象には実施に至っていないが、優先的に必要な方はお悩みに寄り添う支援ができるよう努めています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			見学时・契約時に口頭と書面で詳細で説明を行っています。随時質問も受け付けています。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			保護者様に説明し確認して頂き同意を得ています。(定期的にモニタリングを実施し支援内容の説明をしています。)	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			連絡帳や送迎時の機会にご相談やお悩みをいただいた場合は、個別に傾聴に努め必要な情報や助言等、丁寧な対応を心がけ随時対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			親子交流会として家族参加の機会を提供し、保護者様同士の交流や連携を支援しています。今後保護者様のご意向を確認しながら、企画検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			随時、迅速に対応に必要な体制を整備するよう努めています。またできるだけ意向に沿って早い回答ができるよう心がけています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	毎月、活動の様子としてお写真を添えて個別に発行し行事予定などもお便りを通して発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			個人情報は児童や保護者の目に触れないところで鍵付き(ストッパー)書庫に収納し、日頃から取扱いに配慮し厳重に管理しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			1日の予定の流れや簡単なやり取りの際に、文字、イラスト、写真・実物等の視覚的な手掛かりを用いて、子どもの特性に合わせた分かりやすい様々な情報伝達に努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		今後も内覧会や体験会を通して事業所を開放し、知ってもらう機会を作り地域とのつながりを作っていくしたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			マニュアルは全て用意し保管しております。職員は各マニュアル研修を年に1回ずつ行い定期的にマニュアルの読み合わせや見直しを行います。発災時に安全な避難行動がとれるように引き続き取り組んでいきます。配布物にて周知するなど、より体制を強化できるよう検討を進めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			児童含め月1回避難訓練を実施し緊急時に備えた対応を身につけています。適宜非常避難用の道具や、備蓄品の確認も行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5			服薬が必要な際はお薬札を提出して頂き必要に応じて聞き取りを行っています。喫約の際にも確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		アレルギーがある場合は保護者様から詳細を確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		ヒヤリハット・事故があった場合に共有・再発防止策を検討し報告書に記載しファイリングしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待研修に参加と、社内研修で全職員が参加し、共通意識に努めています。継続して虐待防止委員会による、OJTを行うなど虐待防止に取り組んでいきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			今後対象になる児童がいる際は児童発達支援計画に記載して保護者様に説明していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。